

安全対策課

安全対策課

2-1-15 (決算書 146 ページ)

○生活安全対策費

○環境浄化対策事業

1 旅館の建築及びレンタルルーム営業に関する指導要綱の運用状況

武蔵野市では昭和 58 年に「武蔵野市環境浄化に関する条例」を施行、昭和 59 年に吉祥寺本町一丁目の一部を「環境浄化特別推進地区」に指定。「環境浄化特別推進地区」においては、「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律」と「武蔵野市旅館・レンタルルーム規制条例」などにより、旅館の建築等（新築、増改築、大規模な修繕など）およびレンタルルームの営業について指導を行っている。

平成 17 年度以降、旅館の建築等およびレンタルルームの営業の事前協議・同意申請の実績は無し。

- －武蔵野市環境浄化に関する条例施行規則－
- －武蔵野市旅館・レンタルルーム規制条例－
- －武蔵野市旅館の建築等に関する指導要綱－
- －武蔵野市レンタルルーム営業に関する指導要綱－

2 環境浄化審議会

環境浄化特別推進地区に関する事項、旅館・レンタルルーム規制条例に関する事項及び勧誘行為等適正化特定地区の指定に関する事項その他市長が必要と認める事項を調査、審議する。

H26. 12. 9 審議会実施。

- －武蔵野市環境浄化に関する条例－
- －武蔵野市環境浄化に関する条例施行規則－

3 防犯活動等

飲食店営業者などのための講習会

開催日	H26. 12. 3
場所	武蔵野公会堂
対象	市内で飲食店営業などを営む者及びその従業員
参加者	107 人
市の対応	環境浄化に関する市の施策を説明し、参加者には受講済ステッカーを配布した。

- －武蔵野市環境浄化に関する条例－

4 まちづくり事業

環境浄化特別推進地区

事業区分	事業概要	備考
地域の環境浄化及び活性化	道路清掃 フラワーポットの設置 街路灯の電気料金助成	毎日実施 補助事業 //

- －武蔵野市環境浄化に関する条例－
- －武蔵野市環境浄化に関する条例施行規則－
- －環境浄化特別推進地区における商業活動活性化事業補助金交付要綱－

5 防犯カメラの運用状況

環境浄化特別推進地区内 4 箇所に防犯テレビカメラを S53. 4 (内、1 箇所については平成 12 年) から設置。H24. 3 吉祥寺駅東部地区及び南口に防犯カメラ 10 台新增設し、既設 4 台の改修と合わせて 14 台設置した。東部地区の防犯カメラ 8 台については、モニターを従来どおり東口交番に設置。H24. 3. 16 に設置記念式典及び環境浄化推進啓発キャンペーンを実施。

- －武蔵野市環境浄化に関する条例－
- －武蔵野市環境浄化に関する条例施行規則－
- －武蔵野市防犯カメラの管理及び運用に関する規則－
- －環境浄化特別推進地区における防犯カメラの管理及び運用に関する要綱－

6 歳末特別環境浄化推進パトロール

吉祥寺東部地区の安全・安心のまちづくりをアピールするため、市長を先頭に市民や関係機関と連携して「歳末特別環境浄化推進パトロール」を実施した。

日時	H26. 12. 22 18:00～19:00
集合・解散	吉祥寺駅北口駅前ロータリー部分
対象	環境浄化特別推進地区（吉祥寺駅北東地域及び南東地域）
参加者	130 人

- －武蔵野市環境浄化に関する条例－
- －武蔵野市つきまとい勧誘行為の防止及び路上宣伝行為等の適正化に関する条例－

7 環境浄化地区夜間パトロール

H26. 7. 18 環境浄化特別推進地区において、風俗営業等を営む業者に市民等の環境浄化に向けた確固たる態度を示すため市民安全パトロール隊等による夜間合同パトロールを実施。参加者 48 名。

- －武蔵野市環境浄化に関する条例－

安全対策課

○生活安全対策事業

1 市内安全パトロール

武蔵野市青色防犯パトロール隊「ホワイトイーグル」による市内安全パトロールの実施。市内を3地区に分けて、3台の青色回転灯装着車両により、学校や子ども施設を中心に巡回。(H14.11.18運用開始)
 ホワイトイーグル隊員による市内児童へのセーフティー教室を4回開催 (H26.6.13第1回 仙川小・H26.6.20第2回 仙川保育園・H26.10.24第3回 第四小・H27.3.1第4回 テンミリオンハウス)

—武蔵野市生活安全条例—
 —武蔵野市生活安全条例施行規則—

2 武蔵野市市民安全パトロール隊

市民による有償ボランティアのパトロール隊。
 市内を3地区に分けて、64名 (H27.3.31現在) の隊員で専用のジャンパー、帽子、腕章を身につけ、時間帯は、登下校時を中心に実施。(H16.10.26運用開始)

—武蔵野市生活安全条例—
 —武蔵野市市民安全パトロール隊委員会設置要綱—
 —武蔵野市市民安全パトロール隊設置要綱—

3 つきまとい勧誘行為等の指導

武蔵野市安全パトロール隊「ブルーキャップ」によるつきまとい勧誘行為及び路上宣伝行為等の指導。11名の隊員で活動。
 また、悪質な違反者への対策として、半年以内に3回以上警告を受けた違反者に対し、又は勧誘を委託する店舗の責任者に対し、つきまとい勧誘行為指導通知書を配達証明郵便で通知している。(H14.11.11運用開始) (単位:件)

指導状況	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
つきまとい勧誘指導	47	48	37	41	17
つきまとい勧誘警告	4	6	7	26	—
つきまとい勧誘行為指導通知書交付	—	—	—	—	—
路上宣伝行為指導	6,211	5,928	5,831	4,660	3,466

—武蔵野市つきまとい勧誘行為の防止及び路上宣伝行為等の適正化に関する条例—
 —武蔵野市つきまとい勧誘行為の防止及び路上宣伝行為等の適正化に関する条例施行規則—

4 吉祥寺ミッドナイトパトロール

平成25年2月の事件後、夜間帯のパトロールの必要性が認められ、同年4月1日から新たに深夜帯のパトロール隊である吉祥寺ミッドナイトパトロールをスタートした。
 活動時間は午後11時から翌朝7時までで、吉祥寺駅周辺を徒歩にてパトロールを行なっている。

—武蔵野市生活安全条例—

5 振り込み詐欺対策

振り込み詐欺防止対策機器「迷惑電話防止チェッカー」47台を無料貸出し(平成26年度実績)。武蔵野警察署から振り込み詐欺注意喚起の警視庁メールを受信した際、防災・安心メールを配信するとともに、ホワイトイーグル車両でスピーカーを使い、市民に注意喚起を行っている。

—武蔵野市生活安全条例—

6 吉祥寺安全対策会議

H25.2.28に吉祥寺で発生した強盗殺人事件を踏まえ、吉祥寺のまちの安全安心向上のための総合的な対策の検討を協議し、関係機関等が連携を図ることにより、吉祥寺の安全対策を推進することを目的とする会議。この会議において吉祥寺ミッドナイトパトロールによる24時間巡回態勢をとることを決定。(H25.4.1運用開始 午後11時から午前7時2名体制)
 H25.3.18第1回、H25.4.22第2回、H26.1.22第3回開催。H26.12.10第4回開催 第4回会議において名称を吉祥寺緊急安全対策会議から吉祥寺安全対策会議に名称変更。また吉祥寺商店会パトロールの発足を表明。

—武蔵野市生活安全条例—

7 安全・安心まちづくりに関する覚書締結式

H26.10.3武蔵野警察署と武蔵野市の両者の協力体制を強固にするとともに生活安全会議等を通じ効果的な生活安全計画を策定するために覚書を締結。

—武蔵野市生活安全条例—

8 吉祥寺商店会パトロール、学生パトロール発足

H26.12.22「自分たちのまちは、自分たちで守ろう」を合言葉に、地元商店会が立ち上がり吉祥寺商店会パトロールが発足。また同時に市内の大学ボランティアによる学生パトロール(亜細亜大学・成蹊大学)が発足。

—武蔵野市生活安全条例—

9 建築主に対する指導

新たに市の区域内で戸数15戸以上の共同住宅などの建物を建築しようとする者に対し、当該建物における犯罪を予防するために必要な設備の設置に関して、武蔵野警察署長と協議するよう指導する。

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
指導件数	9	18	27	31	27
(うち共同住宅(件))	(6)	(13)	(13)	(17)	(14)

—武蔵野市生活安全条例—
 —武蔵野市生活安全条例施行規則—

10 武蔵野市生活安全会議

市民生活の安全を確保するための施策に関し、関係機関(武蔵野警察署、武蔵野消防署、多摩府中保健所、武蔵野市消防団)と協議し、また、武蔵野市生活安全計画を策定することを目的とした会議。

回	開催日	主な会議内容
第1回	H27.3.20	・平成27年度武蔵野市生活安全計画について

—武蔵野市生活安全条例—
 —武蔵野市生活安全条例施行規則—

安全対策課

11 武蔵野市生活安全対策推進協議会

武蔵野市生活安全計画の推進を図るため、関係機関、市民団体等と協議することを目的とした協議会。

回	開催日	主な会議内容
第1回	H26. 6. 9	<ul style="list-style-type: none"> ・武蔵野市生活安全計画の発表 ・各団体の安全に関する活動について ・ホワイトイーグル、ブルーキャップ、ミッドナイト及び武蔵野市市民安全パトロール隊の活動状況について

－武蔵野市生活安全条例－
－武蔵野市生活安全条例施行規則－

12 武蔵野市市民安全大会

開催日	H26. 6. 14
場所	武蔵野スイングホール
参加団体等	武蔵野警察署、武蔵野消防署、多摩府中保健所、武蔵野市消防団、東京電力、武蔵野防犯協会、武蔵野市生活安全対策推進協議会、東京都青少年・治安対策本部、一般市民他
参加者数	176人
行事内容	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度武蔵野市生活安全計画の公表 ・講話「感染症対策」 ・講話「武蔵野市の犯罪情勢」 ・講話「震災対策について」 ・パトロール隊紹介 ・寸劇「振り込め詐欺」

－武蔵野市生活安全条例－
－武蔵野市生活安全条例施行規則－

13 武蔵野市暴力団排除条例

都内でも有数の繁華街を抱える本市において、市の現状を踏まえた実効性の高い対策が必要なことから、本市の暴力団に対する強い姿勢を明らかにし、市や市民、事業者の責務等を明示した条例の制定が必要なことから「武蔵野市暴力団排除条例」をH24. 4. 1より施行。都条例とともに、この条例に基づいて市民、事業者、警察等の行政機関との協働により、安全・安心のまちづくりを推進する。

－武蔵野市暴力団排除条例－

○危機管理対策事業

1 AED有効活用推進事業

H. 20. 12. 22、東京武蔵野ライオンズクラブから4台のAED寄贈を受け、市内の24時間営業のコンビニエンスストアに設置したことに伴い、救命事態発生時に市民への貸し出しを行うAED有効活用推進事業を開始。また、緊急時に自己所有AEDの貸し出しを行う協力事業者を募集している。

－武蔵野市生活安全条例－

2 避難者サポートニュース

東日本大震災により、武蔵野市に避難された方へ、様々な情報提供を行うため、情報提供紙として「むさしの避難者サポートニュース」を発行している。23年度は月2回発行。第1回4月25日～開始 24年度より月1回発行。

－武蔵野市生活安全条例－

－武蔵野市における東日本大震災に伴う避難者の登録に関する規則－

3 「平成26年度 武蔵野市国民保護図上訓練」開催

H27. 2. 13 国民保護法に基づき、市及び関係機関が一体となった図上訓練を実施し、緊急対処事態における措置等について具体的な事案を検討することによって、基本的な対応の内容や流れを確認するとともに、武蔵野警察署、武蔵野消防署、自衛隊などの関係機関の役割や連絡体制等の確認、検討を行った。

－武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律（国民保護法）－

4 全国瞬時警報システム（J-ALERT）

有事情報に関する情報や緊急地震速報といった対処に時間的余裕の事態が発生した場合に、人工衛星を用いて情報を送信し、市区町村の防災行政無線等を自動起動させ、国からの緊急情報を住民に伝達する。本市ではH23. 3月末に整備を完了し、H. 23. 4. 1から運用を開始した。H26. 11. 28 J-ALERT 全国一斉自動放送試験を実施、防災行政無線屋外スピーカーを使用し午前11時に訓練放送を流した。

－武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律（国民保護法）－

9-1-4（決算書 258 ページ）

○災害対策費

○一般管理経費

1 災害対策職員住宅

休日・夜間等における災害発生時の緊急初動態勢を確保する。

住宅名	所在地	種別
北町災害対策職員住宅	吉祥寺北町1-11-7	世帯住宅 2DK (2戸)
東町災害対策職員住宅	吉祥寺東町4-9-4	世帯住宅 2LDK (2戸) 単身者住宅 1K (16戸)
中町災害対策職員住宅	中町3-5-12	単身・世帯住宅兼用 1DK (8戸)
境南町災害対策職員住宅	境南町3-16-7	単身・世帯住宅兼用 1DK (9戸)

－武蔵野市災害対策職員住宅管理規程－
－休日、夜間等における災害発生時の緊急初動態勢に関する規程－

防災課

防災課

9-1-1 (決算書 254 ページ)

○常備消防費

1 消防事務委託

常備消防を東京都に委託する。

(1) 消防事務委託経費の推移

(千円)

年度	区分	委託費	前年度比較
22		1,642,417	57,830
23		1,604,781	△37,636
24		1,614,314	9,533
25		1,531,549	△82,765
26		1,565,681	34,132

(2) 委託消防力の現況

① 消防職員数

(人)

区分 署所別	職 員 数							
	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副消防士長	主事	計
本 署	1	3	13	30	27	40	2	116
武蔵境	—	—	1	7	14	16	—	38
吉祥寺	—	—	1	10	8	19	—	38
計	1	3	15	47	49	75	2	192

② 消防自動車数

(台)

区分 署所別	種 別										
	ポンプ車	梯子車	化学車	救急車	査察広報車	指揮隊車	災害多目的車	救助車	非常用ポンプ車	非常用救急車	計
本 署	1	1	—	1	3	1	1	1	2	1	12
武蔵境	2	—	—	1	—	—	—	—	—	—	3
吉祥寺	1	—	1	1	—	—	—	—	—	—	3
計	4	1	1	3	3	1	1	1	2	1	18

(3) 火災発生状況

① 火災発生及び損害件数

火災件数	建 物				車 両	その他
	全 焼	半 焼	部分焼	ぼ や		
34	—	2	1	24	1	6
焼失床面積 (㎡)	損害見積額 (千円)		罹災世帯	罹災人員	死 者	負傷者
191	58,378		22	36	—	2

② 火災原因別件数

原因別	放 火 ・ 放火疑い	電気機器 ・ 配 線	たばこ	ガス器具	火遊び	たき火	その他	計
件 数	8	7	5	4	—	—	10	34

防災課

③月別火災発生状況

月 別	火災発生件数	焼失面積	主 な 火 災 現 場
4	8	62 m ²	4/17 吉祥寺本町
5	1	—	
6	2	—	
7	4	—	
8	5	—	
9	1	—	
10	2	—	
11	3	—	
12	3	129 m ²	12/7 中町
1	2	—	
2	2	—	
3	1	—	
計	34	191 m ²	

④町別火災発生件数

町 別	東 吉 祥 町 寺	南 吉 祥 町 寺	本 吉 祥 町 寺	北 吉 祥 町 寺	御 殿 山	中 町	西 久 保	緑 町	関 前	八 幡 町	境	境 南 町	桜 堤	計
件数	4	1	6	4	—	4	1	1	—	—	6	5	2	34

⑤武蔵野市内救急隊出場状況及び救護人員

種 別 月 別	事故 件数	収容 人員	事 故 等 の 内 訳									
			交通事故		急 病 人		火災負傷		一般怪我		その他	
			事故 件数	収容 人員	事故 件数	収容 人員	事故 件数	収容 人員	事故 件数	収容 人員	事故 件数	収容 人員
4	644	568	35	33	399	353	4	—	100	88	106	94
5	634	560	49	44	369	335	3	—	112	95	101	86
6	628	551	37	34	400	348	1	—	98	86	92	83
7	647	582	42	40	391	355	4	—	118	105	92	82
8	662	597	45	40	418	380	7	1	117	110	75	66
9	626	568	47	44	366	335	1	—	120	108	92	81
10	637	576	46	41	357	321	3	—	134	124	97	90
11	630	557	51	44	366	324	2	—	122	112	89	77
12	758	662	45	38	480	414	1	—	131	123	101	87
1	755	648	50	44	480	411	1	—	123	110	101	83
2	680	612	37	32	392	355	1	—	136	124	114	101
3	656	580	40	37	413	364	2	—	99	86	102	93
計	7,957	7,061	524	471	4,831	4,295	30	1	1,410	1,271	1,162	1,023

防災課

9-1-2 (決算書 256 ページ)

○非常備消防費

1 消防団

消防団は、災害時には消防署と連携して延焼阻止や救助救出活動等に従事し、平常時は地域住民に対し初期消火や応急救護等について技術的な訓練指導を行なうなど、地域防災の中核として重要な役割を担っている。

(1)組織

①本部

(人)

団 長	副団長	分団長	計
1	3	5	9

②分団

(人)

分団数	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	計
10 個分団	10	10	20	40	170	250

(2)消防団行事及び訓練演習

月 日	行事及び訓練演習	場 所
5/17	水防訓練 (本部・全分団)	市立むさしの市民公園
5/18	消防団員専科教育<警防科>	東京都消防訓練所
5/31	消防団員専科教育<機関科>	東京都消防訓練所
6/14	消防団員特別教育<救急科>	東京都消防訓練所
7/ 5	幹部教育研修<初級>	東京都消防訓練所
7/ 6	放水訓練 (本部・全分団)	東京都消防訓練所
8/30	はらっぱ防災フェスタむさしの (本部・全分団)	都立武蔵野中央公園
9/20~21	幹部教育研修 (中級)	東京都消防訓練所
9/28	北多摩地区消防大会 (本部・全分団)	東久留米滝山グラウンド
10/11	東京都消防操法大会	東京都消防訓練所
10/18	武蔵野消防署震災訓練 (4, 8, 10 分団)	武蔵野消防署受持管内他
10/19	訓練所教官を迎えての訓練 (5 個分団)	市立第一中学校
10/26	総合防災訓練 (全分団)	団本部室及び市内全域
11/ 6	庁舎総合防災訓練 (2 個分団)	武蔵野市役所
11/9~15	秋の火災予防運動実施 (本部・全分団)	市内全域
	〃 市内巡回広報 (全分団)	〃
	〃 各家庭防火診断 (全分団)	〃
11/18~19	出初式に向けた操法訓練 (全分団)	市立第一中学校
12/13	消防団員特別教育 (救助科)	東京都消防訓練所
12/26~31	歳末消防特別警戒 (全分団巡回広報)	市内全域
12/27	〃 警戒本部巡視 (団本部)	各分団詰所
12/30	〃 〃 (市長他)	〃
1/ 9	出初式予行演習 (本部・全分団)	都立武蔵野中央公園
1/11	出初式 (本部・全分団)	都立武蔵野中央公園
1/23	文化財防火デーに伴う演習 (本部・1 個分団)	月窓寺
2/ 8	幹部教育研修<上級>	東京都消防訓練所
3/1~7	春の火災予防運動実施 (本部・全分団)	市内全域
	〃 市内巡回広報 (全分団)	〃
	〃 各家庭防火診断 (全分団)	〃

防災課

(3) 消防団員出動状況 (火災等)

		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計
		市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	
本部	回数	3	-	-	1	1	-	2	-	3	1	1	-	1	-	-	2	1	-	-	-	-	-	1	-	17
	延人数	12	-	-	2	3	-	8	-	10	4	1	-	5	-	-	2	6	-	-	-	-	-	7	-	60
1分団	回数	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-	7
	延人数	20	-	-	-	-	-	1	-	-	-	13	-	-	-	5	-	-	-	6	-	13	-	-	-	58
2分団	回数	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	1	1	1	-	-	-	9
	延人数	20	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	8	-	8	-	5	6	9	-	-	-	-	67
3分団	回数	3	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	1	1	1	-	-	-	10
	延人数	19	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	-	-	5	-	11	-	5	7	6	-	-	-	-	70
4分団	回数	1	-	-	-	1	-	2	-	1	-	1	-	-	-	-	1	-	1	1	1	1	1	1	-	12
	延人数	16	-	-	-	4	-	18	-	3	-	4	-	-	-	-	13	-	3	13	5	6	9	-	-	94
5分団	回数	2	-	-	1	1	-	2	-	1	-	1	-	-	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	13
	延人数	19	-	-	8	11	-	23	-	5	-	11	-	-	-	5	-	15	-	8	-	6	-	13	-	124
6分団	回数	2	-	-	1	1	-	2	-	1	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	10
	延人数	19	-	-	5	10	-	20	-	7	-	8	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	18	-	100
7分団	回数	1	-	-	1	-	-	-	-	1	1	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	7
	延人数	7	-	-	10	-	-	-	-	7	2	-	-	5	-	-	-	15	-	-	-	-	-	9	-	55
8分団	回数	2	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-	1	-	-	2	1	-	1	-	-	-	1	-	11
	延人数	17	-	-	-	-	-	-	-	13	4	-	-	7	-	-	11	8	-	3	-	-	-	6	-	69
9分団	回数	2	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-	1	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	9
	延人数	20	-	-	-	-	-	-	-	23	11	-	-	13	-	-	16	-	-	7	-	-	-	-	-	90
10分団	回数	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	7
	延人数	29	-	-	-	-	-	-	-	20	-	-	-	6	-	-	10	-	-	5	-	-	-	-	-	70
合計	回数	22	-	-	4	4	-	13	-	13	4	5	-	5	-	4	7	8	-	8	3	5	1	6	-	112
	延人数	198	-	-	25	28	-	98	-	88	21	37	-	36	-	23	39	89	-	42	26	39	6	62	-	857

防災課

(4) 消防団員出動状況（誤報等）

		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
		市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外		
		回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数		
本部	回数	-	-	3	-	1	-	2	-	4	-	2	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1	17	
	延人数	-	-	8	-	2	-	5	-	11	-	3	-	8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	3	43	
1分団	回数	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	8
	延人数	-	-	17	-	-	-	-	-	4	-	10	-	6	-	13	-	-	-	-	-	-	3	-	9	-	62
2分団	回数	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	7
	延人数	-	-	10	-	-	-	-	-	5	-	6	-	5	-	9	-	-	-	-	-	-	6	-	5	-	46
3分団	回数	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	8
	延人数	-	-	10	-	-	-	-	-	7	-	5	-	8	-	10	-	-	-	-	-	-	5	-	8	-	53
4分団	回数	-	-	2	-	1	-	1	-	1	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	10
	延人数	-	-	11	-	9	-	5	-	3	-	-	-	4	-	13	-	-	-	-	-	-	4	-	8	-	57
5分団	回数	-	-	2	1	1	1	1	-	4	-	2	-	2	-	2	-	-	1	-	-	1	-	1	-	19	
	延人数	-	-	15	5	12	6	9	-	20	-	5	-	9	-	13	-	-	6	-	-	11	-	10	-	121	
6分団	回数	-	-	1	-	1	-	1	-	3	-	1	-	1	-	1	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	11
	延人数	-	-	12	-	12	-	12	-	30	-	15	-	10	-	14	-	-	4	-	-	4	-	-	-	-	113
7分団	回数	-	-	1	-	-	-	-	-	3	-	1	-	1	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	8
	延人数	-	-	6	-	-	-	-	-	10	-	11	-	10	-	9	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	51
8分団	回数	-	-	1	-	-	-	1	-	2	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8	
	延人数	-	-	7	-	-	-	6	-	6	-	7	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	43	
9分団	回数	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6
	延人数	-	-	9	-	-	-	10	-	-	-	10	-	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	57
10分団	回数	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	
	延人数	-	-	12	-	-	-	13	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	47	
合計	回数	-	-	17	1	4	1	8	-	20	-	11	-	15	-	10	-	-	3	-	-	6	-	6	4	106	
	延人数	-	-	117	5	35	6	60	-	96	-	72	-	102	-	82	-	-	15	-	-	33	-	42	28	693	

防災課

(5) 消防団員出動状況（訓練・警戒等）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本部	回数	5	8	8	7	8	5	16	10	9	5	2	6	89
	延人数	22	31	36	21	19	14	88	47	30	30	5	25	368
1分団	回数	2	4	3	5	4	3	7	7	6	4	-	4	49
	延人数	16	17	21	71	50	32	56	42	66	48	-	35	454
2分団	回数	3	3	2	3	3	4	5	5	8	4	1	2	43
	延人数	29	16	14	21	28	38	43	28	82	49	17	8	373
3分団	回数	3	2	1	3	1	1	7	5	5	3	-	3	34
	延人数	18	9	13	27	4	3	64	25	54	40	-	12	269
4分団	回数	3	2	4	3	3	3	5	4	5	4	1	2	39
	延人数	28	10	40	48	25	21	44	35	59	52	14	17	393
5分団	回数	3	3	3	3	2	2	7	6	5	4	-	3	41
	延人数	21	24	45	33	11	18	75	46	75	44	-	20	412
6分団	回数	2	6	2	3	2	3	6	5	6	3	1	2	41
	延人数	16	41	21	31	11	20	67	31	82	45	18	12	395
7分団	回数	3	7	1	6	4	7	4	4	6	3	-	2	47
	延人数	16	46	8	46	24	40	40	26	71	36	-	13	366
8分団	回数	4	4	4	7	4	1	12	6	6	3	2	3	56
	延人数	28	20	29	46	24	3	81	35	66	43	12	17	404
9分団	回数	4	6	4	6	4	3	9	6	6	3	-	3	54
	延人数	57	53	54	48	26	34	78	39	91	48	-	27	555
10分団	回数	1	3	4	5	3	1	7	5	6	4	4	3	46
	延人数	17	20	45	61	15	3	57	42	87	58	9	26	440
合計	回数	33	48	36	51	38	33	85	63	68	40	11	33	539
	延人数	268	287	326	453	237	226	693	396	763	493	75	212	4,429

(6) 都三多摩地区消防運営協議会

年月日	内 容	場 所
26. 5. 29	東京都三多摩地区消防運営協議会 通常総会	東京自治会館
27. 1. 20	〃 第二部会	東京自治会館
27. 1. 22	〃 第一部会	東京自治会館

2 出初式

開催日 平成 27 年 1 月 11 日（日）
 場 所 都立武蔵野中央公園
 主要内容 服装検閲、特別演技（亜細亜大学吹奏楽団）
 表彰
 優良分団表彰 （東京都三多摩消防団連絡協議会長）第 2 分団
 優良分団表彰 （東京消防庁武蔵野消防署長）第 3、10 分団
 優良分団表彰 （市長）第 5、8 分団
 永年勤続団員表彰 （市長）他

— 消防法 —
 — 武蔵野市消防団に関する条例 —

防災課

9-1-3 (決算書 256 ページ)

○消防施設費

1 消防水利

武蔵野消防署との消防水利の設置等に関する協定に基づき効果的な消防水利の確保に努めている。

(1) 消防水利現況

① 防火水槽

区分 町別	10～20m ³ 未満			20～40m ³ 未満			40～100m ³ 未満			100m ³ 以上			合計		
	公設	私設	計	公設	私設	計	公設	私設	計	公設	私設	計	公設	私設	計
吉祥寺東町	—	—	—	—	—	—	12	—	12	10	1	11	22	1	23
吉祥寺南町	—	—	—	1	—	1	10	7	17	5	2	7	16	9	25
吉祥寺北町	—	—	—	1	1	2	27	16	43	6	—	6	34	17	51
吉祥寺本町	—	—	—	3	—	3	17	11	28	5	3	8	25	14	39
御殿山	—	—	—	—	—	—	4	2	6	—	1	1	4	3	7
中町	—	—	—	2	1	3	21	20	41	2	6	8	25	27	52
西久保	—	—	—	2	—	2	12	3	15	3	1	4	17	4	21
緑町	—	—	—	—	—	—	7	5	12	5	2	7	12	7	19
八幡町	—	—	—	—	—	—	13	2	15	6	—	6	19	2	21
関前	—	—	—	1	—	1	16	2	18	7	2	9	24	4	28
境	—	—	—	1	—	1	19	18	37	5	4	9	25	22	47
境南町	—	—	—	3	1	4	22	6	28	7	9	16	32	16	48
桜堤	—	—	—	2	—	2	7	10	17	5	4	9	14	14	28
総計	—	—	—	16	3	19	187	102	289	66	35	101	269	140	409

② 消火栓

区分 町別	公設	私設	計	区分 町別	公設	私設	計
吉祥寺東町	72	—	72	緑町	27	7	34
吉祥寺南町	107	—	107	関前	76	—	76
吉祥寺本町	115	—	115	八幡町	35	—	35
吉祥寺北町	99	4	103	境	101	1	102
御殿山	24	—	24	境南町	101	3	104
中町	82	1	83	桜堤	31	—	31
西久保	64	—	64	計	934	16	950

③ その他

種別	区分	公設	私設	計	種別	区分	公設	私設	計
貯水池	100m ³ 以上	1	—	1	プール 池水路 蓄熱槽	—	20	6	26
	40m ³ 以上	—	2	2		—	—	—	—
	40m ³ 未満	1	—	1		3	—	—	3
雨水貯留槽		1	—	1	計	27	8	35	

防災課

(2) 消防水利施設整備状況

① 新設 (消火栓)

種別	設置年月	設置場所	規模・種類
消火栓	26. 8	吉祥寺本町3丁目20番	75m/m 地下式単口
	26. 8	境2丁目2番	
	26. 8	境南町1丁目21番	
	26. 9	中町1丁目26番	
	26.12	中町1丁目23番	
	27. 2	境南町1丁目17番	
	27. 3	御殿山1丁目1番12外4	
	27. 3	関前2丁目5番	

② 新設 (防火水槽)

種別	設置年月	設置場所	規模・種類
防火水槽	26.10	境1丁目地内	100 m ³ R C
	27. 2	吉祥寺東町1丁目23番地内	100 m ³ R C

③ 修理等 (消火栓)

種別	内容	件数
消火栓	高さ調整	5

防災課

9-1-4 (決算書 258 ページ)

○一般管理経費

1 防災会議

(1) 防災会議開催状況

第1回	(開催月日) (開催場所) (会議内容)	平成26年5月29日(木) 市役所西棟5階 対策本部室 ①審議事項 ア 武蔵野市地域防災計画(平成26年修正一覧)案について ②報告事項 ア 武蔵野市災害時避難行動支援体制検討委員会の設置について イ 防災訓練事業の見直しについて
-----	----------------------------	---

(2) 委員の任命

26年度中新規任命	8名
26年度中異動による補充	—
26年度中任期満了による再任	—

—武蔵野市防災会議条例—

2 災害時避難行動支援体制検討委員会

(1) 災害時避難行動支援体制検討委員会開催状況

第1回	(開催月日) (開催場所) (会議内容)	平成26年7月8日(火) 市役所西棟5階 対策本部室 ①議題 ア 当委員会の公開及び運営に関する確認事項 イ 災害時要援護者対策事業における国の取り組み ウ 当市における災害時の避難行動支援体制の現状及び課題 エ 当委員会のスケジュール
第2回	(開催月日) (開催場所) (会議内容)	平成26年7月30日(水) 市役所西棟5階 対策本部室 ①議題 ア 【課題1 避難行動要支援者の定義】について イ 【課題2 各機関・団体の安否確認・避難支援への関わり方、役割分担】 及び【課題3 安否確認・避難支援等の手順】について
第3回	(開催月日) (開催場所) (会議内容)	平成26年9月9日(火) 市役所西棟5階 対策本部室 ①議題 ア 【課題1 避難行動要支援者の定義】についての確認 イ 【課題2 各機関・団体の安否確認・避難支援への関わり方、役割分担】 及び【課題3 安否確認・避難支援等の手順】について ウ 【課題4 名簿提供先の指定、個人情報保護の仕組みづくり】について
第4回	(開催月日) (開催場所) (会議内容)	平成26年10月3日(金) 市役所西棟5階 対策本部室 ①議題 ア 前回の議論を受けて イ 安否確認及び避難支援場所の数について ウ 重点的に議論が必要な項目について ・「多様な手段の活用による情報伝達」 ・「避難行動要支援者・災害時要援護者情報の共有」 エ 今後のスケジュールについて
第5回	(開催月日) (開催場所) (会議内容)	平成26年12月16日(火) 市役所西棟5階 対策本部室 ①議題 ア 武蔵野市災害時避難行動支援体制検討委員会報告書(案)について

(2) 委員の任命

新規任命	20名
------	-----

—武蔵野市災害時避難行動支援体制検討委員会設置要綱—

3 災害応急対策活動

(1) 大雨に伴う対応措置

(日 時)	H26. 6. 24 8:48~22:50
(活動態勢)	第1警戒態勢
(被害概要)	被害なし

(2) 大雨に伴う対応措置

(日 時)	H26. 6. 29 13:09~22:08
(活動態勢)	第2警戒態勢
(被害概要)	浸水(床上5件、床下7件、その他1件) 道路冠水8件 道路隆起2件 その他2件

(3) 台風8号に伴う対応措置

(日 時)	H26. 7. 10~7. 11 16:15~翌8:30
(活動態勢)	第2警戒態勢
(被害概要)	その他2件

(4) 大雨に伴う対応措置

(日 時)	H26. 7. 20 18:38~21:30
(活動態勢)	第2警戒態勢
(被害概要)	浸水(床上4件、床下10件、その他4件) 道路冠水5件 土のう要請4袋

防災課

- (5)大雨に伴う対応措置
 (日 時) H26. 7. 24 18:37~22:50
 (活動態勢) 第2警戒態勢
 (被害概要) 浸水(床上38件、床下50件、その他2件)
 公共施設(床上4件)
 その他10件
 道路冠水 北町1丁目27を中心に広範囲多数
 停電 延べ38,345件
 土のう要請125袋
- (6)台風11号に伴う対応措置
 (日 時) H26. 8. 9~ 8.10 18:00~翌19:55
 (活動態勢) 第2警戒態勢
 (被害概要) 被害なし
 土のう要請7件(92袋)
- (7)大雨に伴う対応措置
 (日 時) H26. 9.10 16:51~20:15
 (活動態勢) 第2警戒態勢
 (被害概要) 浸水(床上2件、床下1件、その他1件)
 土のう要請2件(24袋)
- (8)台風18号に伴う対応措置
 (日 時) H26.10. 5~10. 6 21:00~翌11:51
 (活動態勢) 第3警戒態勢
 (被害概要) 被害なし
 土のう要請4件(70袋)
 車両退避5件
- (9)台風19号に伴う対応措置
 (日 時) H26.10.13~10.14 15:00~翌8:30
 (活動態勢) 第2警戒態勢
 (被害概要) 倒木・枝折れ4件
 その他被害1件(看板落下)
 土のう要請2件(17袋)
 車両退避4件

4 災害援助

(1)災害見舞金及び死亡弔慰金支給状況

全 焼 (壊)			半 焼 (壊)		
件数	世帯 (単身)	支給金額(円)	件数	世帯 (単身)	支給金額(円)
—	—	—	1	1	20,000
火災による水損			床上浸水		
件数	人数	支給金額(円)	件数	世帯 (単身)	支給金額(円)
—	—	—	52	43 (9)	940,000
死亡弔慰金					
件数	人数	支給金額(円)			
—	—	—			

—武蔵野市災害見舞金等支給条例—

(2)被災者一時宿泊施設使用状況

宿泊人員	開設日数
一名 (一世帯)	— 日間

5 補助事業

災害に強いまちづくりを推進するため、市民が行なう各種の安全対策に対し、補助金を交付している。

(1)ブロック塀等改善補助及び改善資金融資あっ旋(利子補給)制度

対象：市が行った調査(平成14年度)により危険と判断されたブロック塀等の所有者

区分	内 容	1m基準額(円)	申請件数	補助金額(円)
改修	既存のブロック塀を取り壊し、新たにパイプフェンス、ネットフェンス、ブロック塀等に改修する。	6,000	9	546,000

—武蔵野市ブロック塀等改善補助金交付要綱—

(2)災害対策用民間井戸維持管理補助 対象：市内の指定井戸所有(管理)者

一人当たり補助額(円)	補助対象者数	補助金額(円)
9,000	93	837,000

—武蔵野市災害対策用井戸の所有者に対する維持管理補助金交付要綱—

防災課

(3) 家庭用消火器等購入補助 対象：市内在住世帯

一世帯当り 補助金額(円)	申請件数	補助金額(円)
500	1	500
1,500	56	84,000
2,500	547	1,367,500
計	604	1,452,000

－武蔵野市家庭用消火器など購入補助金交付要綱－

○防災訓練事業

1 総合防災訓練

震度6弱以上の大地震の発生及び東海地震の警戒宣言を想定し、市、防災関係機関及び地域住民が一体となって実効性のある総合的、有機的な訓練を実施している。

(1) 予知対応型訓練(東海地震の警戒宣言を想定)
 (日 時) H26.10.26 午前9時～正午
 (場 所) 市内全域

(2) 発災対応型訓練(首都直下型地震想定)
 (日 時) H26.10.26 午前9時～正午
 (場 所) 武蔵野市役所、特別養護老人ホームゆとりえ及び市立小中学校及び市内都立高校(全20校)
 (参加者数) 1,312名(訓練総参加者数)
 (内訳: 参加職員185名、参加機関525名、市民470名、自主防災組織125名、来賓7名)

(3) 訓練の体系

【予知対応型訓練】

情報伝達訓練	消防団による広報訓練
警戒宣言対応訓練	防災行政無線、職員召集システムによるメール配信訓練

【発災対応型訓練】

避難所開設訓練	初動要員、避難所運営組織、防災推進委員及び一般参加者による避難所開設訓練
安否確認訓練	避難所における安否情報の集約及び無線機を使った災害対策本部への通信訓練等
福祉避難所開設訓練等	福祉避難所の開設及び受入訓練等
消防団による図上訓練等	消防団による災害想定との付与に基づく部隊運用を行う図上訓練等
物資配送訓練	災害対策本部からの要請による物資の積み込み、配送及び引き渡し訓練等
災害対策本部運営訓練等	参集者による初動本部及び災害対策本部の運営訓練等

(4) 実施機関

市、警察署、消防署、消防団、その他関係機関及び市民

2 水防訓練・地震対策ひろば

本市では、地下駐車場や地階を伴った商業ビルやマンション等が多く建設されており、集中豪雨等による浸水被害を受けることが予想される。このような都市型の水災害に対応するため各種の水防活動訓練を実施している。

(日 時) H26. 5.17 午前9時～正午
 (場 所) 市立むさしの市民公園
 (参加者数) 444名
 (実施機関) 市、消防署、消防団、警察署、その他関係機関、ボランティア団体及び市民

機関連携訓練	パトロール訓練
	マンホール噴出防止工法(展示)
	改良積み土のう工法、連結水のう工法訓練
	資材搬送訓練
	救命ボート組立実演
市民参加訓練	家庭のできる水防技術講習会(生活用品を使った工法)
地震対策ひろば	スタンドパイプによる放水体験
	煙体験
	ガス復旧方法の確認
	家具転倒防止器具等の展示
	地震対策、浸水対策、雨水対策等の啓発
	住宅耐震化促進に関する案内
	被災地支援パネルの提示
消防車両・警察車両の展示	
スタンプラリー	

防災課

3 初動地域防災訓練

災害時の一時集合場所・避難所における市初動要員と学校側との密接な連携をはかり、迅速かつ適切な避難所運営を目指すことを目的として実施している。

(1)実施状況

26年度は総合防災訓練と合わせて、市内全避難所で一齐に訓練を実施した。
日時 平成26年10月26日(日)午前9時～正午

(2)実施内容

各支部の初動要員が学校の担当者・地域住民等と顔合わせ。避難所開設までの動きの確認および備蓄資機材・設備の動作確認を行った。

(3)参加者数 約1,120名

4 防災ボランティア訓練

災害ボランティア活動の拠点である市民文化会館を使用し、災害ボランティアセンター開設・運営訓練をおこなうことで、各機関の役割の再認識と体制の連携を図ることを目的として実施している。

(1)無線通信訓練

(日 時) H27. 1.16 午後1時15分から2時15分
(場 所) 市役所、社会福祉協議会事務室、市民文化会館事務室、国際交流協会事務室
(内 容) 各関係機関に設置しているMCA無線を利用し、災害発生状況の通知や各施設の被害状況確認、災害ボランティアセンター開設指示の伝達等を行い、災害時における情報伝達方法の確認および検証を行った。
(参加機関) 市 防災課・地域支援課、(福)武蔵野市民社会福祉協議会、(公財)武蔵野国際交流協会、(公財)武蔵野文化事業団

(2)災害ボランティアセンター運営訓練

(日 時) H27. 1.17 午前8時30分～午後0時20分
(場 所) 市民文化会館
(内 容) 市民文化会館にて災害ボランティアセンターの開設、ボランティア班の初動態勢の確認等を中心に、発災直後を想定したボランティアの受け入れ及びマッチングの訓練を行った。また、同一想定の訓練を2回実施し、1回目の訓練で出た反省等を2回目の訓練で改善できるようにした。
(参加者数) 174名
(実施機関) 市 防災課・地域支援課、(福)武蔵野市民社会福祉協議会、(公財)武蔵野市国際交流協会、(公財)武蔵野文化事業団、地域福祉活動推進協議会、避難所運営組織、亜細亜大学・成蹊大学などの学生ボランティア、聴覚障害者団体

5 帰宅困難者対策訓練

東京湾北部を震源とした首都直下地震が発生、市内において最大震度6弱を観測し、鉄道等の公共交通機関が運行を停止し、吉祥寺駅周辺に多数の帰宅困難者が発生したことを想定し、訓練を実施した。

(日 時) H27. 3.11 午後2時～4時
(場 所) 吉祥寺駅周辺及び一時滞在施設等
(内 容) (1)市災害対策本部運営訓練(情報収集・伝達訓練)
(2)吉祥寺駅及び周辺での帰宅困難者の保護・一時待機訓練
(3)帰宅困難者への情報伝達訓練(緊急速報メール等の活用)
(4)一時滞在施設への誘導訓練
(5)支援物資搬送訓練
(6)一時滞在施設における帰宅困難者受入及び支援物資提供訓練
(7)武蔵野消防署、武蔵野警察署、日赤奉仕団による防災啓発活動
(8)職員招集メールの配信

(参加者数) 291名
(実施機関) 吉祥寺駅周辺混乱防止対策協議会(吉祥寺活性化協議会、JR吉祥寺駅、京王電鉄吉祥寺駅、関東バス武蔵野営業所、エフエムむさしの、J:COM武蔵野・三鷹、武蔵野警察署、武蔵野消防署、東京都西部公園緑地事務所、武蔵野商工会議所、武蔵野市開発公社、武蔵野公会堂、ブルーキャップ、吉祥寺まちづくり事務所、武蔵野市)、一時滞在施設協定締結事業所、コラボデリバリー(株)、自主防災組織、防災推進員、日赤奉仕団、一般公募帰宅困難者役、地域の方々等

○災害対策用器具機材備蓄品整備

1 地域設置消火器

平成9年度より設置基準を見直し、設置間隔を60mに縮め、空白区域を補強・増設するとともに、保守・管理にあたっている。

(1)設置状況

種 別	設置場所	本数	放射距離	放射時間
粉 末	市内各所	1,300	約5メートル	約15秒
強 化 液	市内各所	75	約7メートル	約35秒

防災課

(2)維持修理状況

処理事項	本数
盗難、いたずらによる補充	19
減圧による詰め替え	6
火災使用による詰め替え	—
格納箱の修理交換	93
一時撤去（移設含）	13
10年経過による交換	312
合計	443

2 食糧備蓄状況

震災時の避難人口を32,000人と想定し、クラッカーやアルファ米などを備蓄している。賞味期限到来まで1年を切った食糧については入れ替えを行い、防災訓練等が行われる際に供出している。

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| (1)クラッカー | |
| 入替数量 | 24,150 食 |
| H27. 3.31 現在 | 121,800 食 |
| (2)アルファ米 | |
| 入替数量 | 24,000 食 |
| H27. 3.31 現在 | 121,500 食 |
| (3)副食（缶詰） | |
| 入替数量 | 32,400 食 |
| H27. 3.31 現在 | 64,800 食 |
| (4)災害時要援護者用食糧（おかゆ缶） | |
| 入替数量 | 6,000 食 |
| H27. 3.31 現在 | 12,000 食 |
| (5)災害時要援護者用食糧（パン缶） | |
| 入替数量 | 5,040 食 |
| H27. 3.31 現在 | 10,080 食 |
| (6)災害時要援護者用食糧（粉ミルク 350g 缶） | |
| 入替数量 | 1,224 缶（うちアレルギー疾患用 252 缶） |
| H27. 3.31 現在 | 1,224 缶（うちアレルギー疾患用 252 缶） |

○防災施設整備事業

1 防災行政無線設備

防災行政無線システムは、市から市民に直接情報を伝達する固定（同報）系無線と、市と市の施設及び防災関係機関相互の情報連絡を確保するための無線の2系統で構成している。H22年度に地域防災無線（アナログ 800MHz 帯）から防災用MCA無線へ設備更新し、デジタル化を図った。

H25年度にハウスグリーンパーク、J:COM 武蔵野・三鷹、桜堤児童館、吉祥寺本町在宅介護支援センターにMCA無線増設を行った。

(1)固定系設備設置状況

構成	局数	出力
親局	1	
屋外拡声子局	47	0.5 W
屋内戸別受信機	82	

(2)防災用MCA無線設備設置状況

構成	局数	出力
統制型無線機	5	
半固定型無線機	128	2 W
携帯型無線機	48	
車載型無線機	1	

2 災害対策用井戸整備

平成9年度より、災害時の水源確保のため、避難所となる市立小・中学校に井戸の設置を進めてきた。

<設置状況>

H23. 3.31 現在 18カ所（市立小中学校分）全てに設置済
 (H22年度改修箇所 都立武蔵野中央公園、市立桜野小学校)
 (H24年度改修箇所 市立大野田小学校)

防災課

○防災啓発事業

1 地域防災訓練（共催・後援）

地域住民等による自主的な防災訓練や防災課職員による講話・講演、防災PR用品の配布、炊き出し用器材の貸し出し等、コミュニティセンター、学校、公園などを拠点に計246回行われた。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
貸出	6	4	5	8	7	9	11	15	6	13	1	2	87
訓練	6	5	7	12	7	14	17	26	5	5	5	5	114
講話・講演	6	1	2	1	—	7	6	3	1	4	2	2	35
打合せ・会議	2	—	4	1	—	—	1	2	—	—	—	—	10
計	20	10	18	22	14	30	35	46	12	22	8	9	246

2 非常持ち出し袋贈呈事業

心身に障害のある方を対象に非常持ち出し袋の贈呈を行い、いざという時に役立てていただくとともに、日頃からの備えについての大切さを認識していただくために実施している。

（対 象） 平成25年4月1日～平成26年3月31日までに、身体障害者もしくは知的障害者として新規に登録された方（転入者含む）

（内 容 品） 非常持出袋・LED電灯・ポケットラジオ・軍手・三角巾・サバイバルホイッスル・水不要トイレ乾電池

（配布実績） 206名

3 武蔵野市防災情報マップ、防災ハンドブックの作成・配布

平成26年度は防災情報マップ、防災ハンドブック共に増刷なし。